

坂出・綾歌支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むためのメディア教育の在り方
ーメディア活用の目的を明確にした授業づくりー

2 はじめに

新学習指導要領の基本理念である「生きる力」を育むという目標を実現するため、基礎的・基本的な知識と技能に加えて、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力の育成などがポイントとしてあげられている。特に、多様な情報の中から必要な情報を効率的に選択し、それらをもとに自分の考えや思いを主体的に表現・発信する力を図ることが学校教育に求められると考えられる。それはまさにメディア教育の担う役割であり、加速化している高度情報社会においてその役割はますます大きくなっている。

そこで、本部会では、メディア活用の目的を明確にした授業づくりに重点を置き、メディアを使った「わかる授業」の創造を通して、生徒個々の確かな学力の育成を目指すこととした。

「わかる授業」づくりの方法・技術等を整理し明らかにしながら、より効果的な質の高い教育実践に繋げていくための「メディア活用」の在り方について、実践研究を踏まえて検討を行った。

3 研究計画

(1) 4月20日

場所：宇多津町立宇多津中学校

内容：研究組織及び主題の決定、研究の進め方についての共通理解

(2) 6月18日

場所：坂出市立東部中学校

内容：研究授業（国語）、研究討議、各中学校での実践事例についての情報交換

(3) 10月27日

場所：坂出市立白峰中学校

内容：研究授業（英語）、研究討議、各中学校での実践事例についての情報交換

4 研究内容

(1) 研究授業Ⅰ（6月18日）

ア 第2学年 国語

題 材 考えと根拠を吟味する

授業者 近藤 宏



イ 本時の目標

ドラマの一部を視聴しながら、考えの根拠としている内容について話し合い活動を通して吟味することができる。

ウ 学習指導過程

(ア) 導入

- ・前時の振り返りをする。
- ・本時の内容を確認する。

(イ) 展開

- ・教科書で例題を解く。
- ・DVDを見て、登場人物の話を聞き取る。
- ・考えを班で話し合う

①考えと根拠を整理する

②考えと根拠を吟味する。

③吟味した結果を話し合う。



(ウ) 発表

- ・ホワイトボードに意見を書き、発表する。

(エ) まとめ

- ・黒板に貼られた各班のホワイトボードを参考にしながら、まとめをする。

エ 討議内容

今回の授業では、デジカメが効果的に利用されていた。ホワイトボードはどの教科でも話し合い活動や発表の際に有効に利用されているが、授業の中で消して次の内容を書くことも少なくない。途中経過も含めてデジカメで記録をすることで、それまでに書かれた内容を再び効果的に利用することにつながるのではないか。

(2) 研究授業Ⅱ（10月27日）

ア 第2学年 英語

題 材 道案内をしよう

授業者 横田 肇

イ 本時の目標

- (ア) 基本表現を用いて、道案内をすることができる。
 - (イ) 英語での道案内に意欲的に取り組める。
- ウ 学習指導過程
- (ア) 学習課題の確認
 - (イ) 道案内の会話を確認し、グループで実践する。
 - (ウ) 全体で発表し、本時の振り返りをする。

エ 討議内容

ミラキャストを使用した授業提案であった。これまでのように、PC やスクリーン、その他の ICT 機器の準備がなくても、効果的にメディアを活用して、授業を展開できることを示した。主に教員主導で機器の操作が行われていたが、授業の最後では生徒が機器を操作しながら道案内をすることができていた。周りの生徒はテレビ画面を見ながら、道案内がどのように行われているかを確認しつつ自分たちの道案内と照らし合わせ、比較することができていた。



5 今後の課題

今回の実践研究では、デジカメや i-phone 等のモバイル機器の活用が提案された。いくつかの操作がそれ一台でできることや場所を移動しながらでも活用できるため、運用面全般にわたり即時性の高さを実感できた。今回の研究成果は、各校でタブレット端末等を予算要望するための根拠に繋がるものと考え。現場の実態を報告するとともに、専門家に依頼するなど機器と授業支援を維持管理する人材の確保が求められる。